

<<2024 年度事業報告>>

<事業の現状>

(1)公益目的事業1 農薬の適正使用に関する研修「緑の安全管理士」資格認定事業

- ① 緑の安全管理士(緑地・ゴルフ場分野)の第46回資格認定研修会(11/20~22、アーバンネット神田カンファレンス 2階、3階会議室)を開催し、91名が受講(前年76名)して、90名が認定試験に合格(前年76名)。第1回認定審査会(12/4)にて(一社)日本植物防疫協会の第102回植物防疫研修会修了者(農耕地分野)53名と合わせて143名を管理士に認定した。

また、第2回認定審査会(3/7)を開催し、第103回植物防疫研修会修了者51名を農耕地分野の管理士に認定し、2024年度の新規認定者数は195名(前年169名)となった。

- ② 資格更新研修会(2025/1/7~2/28)は、当年度も当協会HPの緑の安全管理士専用サイトの研修動画5件を視聴して視聴確認書等を提出する方式とした。更新対象の管理士495名のうち343名が受講し、受講率は69.3%(前年66.6%)に増加した。研修動画は更新年次以外の管理士にも視聴を促し、専門知識のレベルアップをはかった。

また、更新年次の受講者(有償)には動画スライドの印刷物を提供した。なお、「緑地・ゴルフ場の病害虫雑草防除」の冊子を改訂し300部印刷した。

<研修テーマ>

- ✓ 農薬をめぐる最近の動向……農林水産省農薬対策室
- ✓ 農薬の環境影響に係るリスクの評価と管理…環境省農薬環境管理室
- ✓ 農薬の登録状況を巡る最近の話題(農薬の使用時安全性評価)…FAMIC 農薬検査部
- ✓ 事例紹介(作物分類、使用回数、その他)……(公社)緑の安全推進協会
- ✓ 事務局報告(緑の安全管理士スキルアップ勉強会の最終案内、緑の安全管理士会のロゴマーク選定、事務局からのお願い)……事務局長、事業推進室長

2024年4月1日現在の緑の安全管理士の総数は2730名となった。

- ③ 現地開催での支部大会兼資格更新研修会は緑の安全管理士同士が対面で情報交換できる場となっていたが、資格更新研修のオンデマンド化で中断したため前年度に緑の安全管理士のスキルアップ勉強会(近畿地区開催)の名で再開し、当年度は2回目をCIVI研修センター新大阪東で開催した。

全国の管理士に案内し、2025年1月30日に講演会と意見交換会の形で開催したところ、講演会に62名(ウェブ視聴込み)、意見交換会に17名が参加した。

<講演テーマ>

- ✓ 農薬の再評価制度についてー農取法改正の影響ー…クロップライフジャパン/横田篤宜 氏
- ✓ ドローンでの農薬使用における規制のポイント…元住友化学/赤山敦夫 氏

- ✓ ドローン散布による防除の現状と普及について・・・大信産業(株)/田頭正之 氏
- ✓ ドローン散布の今後の展開・・・バイエルクロップサイエンス(株)/涌嶋俊史 氏
- ④ 「緑の安全管理士」への情報提供として、「みどりのたより」を 3 回(4/30、7/24、1/15)発行し、HP の管理士サイトに PDF 版を掲載して News メールで周知するとともに、特に希望する管理士には冊子を郵送した。また、最新の登録情報等をメールマガジンで周知した(配信回数 43 回、前年度 53 回)。
- ⑤ 緑の安全管理士会のロゴマーク設定について
緑の安全管理士会活動の活性化に向け、緑の安全管理士を対象にロゴを公募した結果、16 作品の応募があった。管理士全員に依頼した投票結果が 2 月末に纏まり、商標の先行調査結果も参考にして、緑の安全管理士会役員会で絞り込み作業中。

<<緑の安全管理士会役員>>

会 長 紀平 茂男 正和商事(株)
副会長 吉岡 忠志 山陽薬品(株)

支部名	担当県	氏名	会社名
北海道	北海道	支部長 佐々木 豊	(株)日の丸産業社
		副支部長 森 信 彦	(株)サンガリン太陽園
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	支部長 正木 吉範	北東北スカイテック(株)
		副支部長 木根 雅道	(株)理研グリーン
関東・甲信越	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、新潟	支部長 澁谷 浩司	(株)理研グリーン
		副支部長 小川 浩司	日産緑化(株)
		副支部長 中村 陽一	(株)ニチノ緑化
東海・北陸	静岡、富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重	支部長 大石 浩	東海物産(株)
		副支部長 福島 勉	(株)トモグリーン・ケミカル
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	支部長 紀平 茂男	正和商事(株)
		副支部長 萩原 啓稚	(株)ニチノ緑化
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知	支部長 吉岡 忠志	山陽薬品(株)
		副支部長 西本 正巳	大信産業(株)
		副支部長 西山 聡	(株)喜多猿八
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	支部長 竹井 嘉浩	サンケイ化学(株)
		副支部長 原田 勝之	(株)サンケイグリーン

(2)公益目的事業 2 農薬の適正使用に関する知識の普及・啓発事業(講師派遣、電話相談、種々の情報提供)(クロップライフジャパンとの協働事業)

① 講師派遣は 180 件以上との目標に対し、農業団体、生産組合、都道府県等が主催する研修会等で 232 件実施した(2023 年度末 211 件、2022 年度末 164 件)。

委嘱講師の研修会は 3 回実施(7/12、10/29、2/14)し、知識の向上をはかった。

② 電話相談件数は 355 件(2023 年度末 231 件、2022 年度末 243 件)に増加した。相談者の内訳は、使用者 148(前年末 127、以下同じ)、一般市民等 100(58)、指導者 51(28)、販売者 36(18)の順で、使用者からの相談が多かった。相談内容の内訳は、農薬使用法 250(150)、健康・安全性 73(75)、苦情 7(1)、要望提案 5(5)であった。

農薬メーカーのお客さま相談窓口担当者を対象とした研修会が 2 回(11/15、2/12)開催され、相談対応スキルの向上をはかった。

③ リーフレットの配布は 375 ヶ所、243,832 部(2023 年度の年間実施 325 ヶ所、194,043 部、2022 年度同 228 ヶ所、121,049 部)であった。また、ポスター、希釈早見表、RAC コード表についても要望に応じて提供した(累計:希釈早見表 2,328 部、IRAC 4,887 部、FRAC 5,329 部)。

また、「知って得する保護具の知識」、「しっかり記帳できちんと管理」、「あっ！その作物には使えないよ」、「よくわかる！農薬適正使用のポイント」「ちゃんと知りたい農薬のこと(知っていますか食の安全)」の 5 種類のリーフレットを改訂・増刷に対応した。

(3)公益目的事業 3 農薬の安全使用に関する図書・印刷物等の発行等

① グリーン農薬総覧 2025 総合版の発行・頒布

2025 年 1 月末の農薬登録内容を反映したグリーン農薬総覧 2025 総合版を編集し、3 月初旬に発行した。規制当局や自治体、会員に無償で配付するとともに、一般向けに実費での有償頒布を開始し、累計 415 部を頒布・納本(有償 210、無償 205)した。

なお、別途 pdf 版も作成しており、配布先、頒布先の求めに応じて提供した。

② 2023 年度緑地・ゴルフ場分野の農薬出荷実績

緑地・ゴルフ場分野での農薬出荷実績につき、会員 28 社の協力を得てとりまとめ結果を公表した(2/1)。トータルの数量が 7,939ton・kℓとなり、対前年 105.9% (443 ton・kℓ 増)、金額は 33,139 百万円で、対前年 107.1%であった(2,208 百万円増)。

種別では、殺虫剤は数量 1.6%増(金額 2.4%増)、殺菌剤は数量 2.7%減(金額 6.2%増)、除草剤は数量 8.1%増(金額 9.5%増)、植物成長調整剤は数量 16.7%減(金額 0.5%増)、また、その他(忌避剤、殺藻剤等)は数量 17.5%増(金額 24.6%増)となった。用途別でみると、芝は数量 3.3%減(金額 0.7%減)、樹木は数量 5.1%増(金額 5.2%増)、緑地では数量 11.0%増(金額 34.9%増)となった。

出荷数量(2023 年 10 月～2024 年 9 月)

種別	用途別販売数量(ton,kℓ)							
	芝	前年比	樹木	前年比	緑地	前年比	合計	前年比
殺虫剤	318	99.1	292	104.6	0	79.4	610	101.6
殺菌剤	916	97.3	1	105.1	-	-	917	97.3
除草剤	1,025	92.9	11	100.0	5,052	111.8	6,088	108.1
植調剤	45	98.6	6	110.2	76	75.0	127	83.3
農薬肥料	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	141	121.9	56	107.8	-	-	197	117.5
合 計	2,445	96.7	366	105.1	5,128	111.0	7,939	105.9

出荷金額(2023 年 10 月～2024 年 9 月)

種別	用途別販売金額(百万円)							
	芝	前年比	樹木	前年比	緑地	前年比	合計	前年比
殺虫剤	2,581	100.2	2,603	104.6	2	79.4	5,186	102.4
殺菌剤	7,644	106.2	2	101.4	-	-	7,646	106.2
除草剤	9,806	92.2	14	90.1	7,569	144.9	17,389	109.5
植調剤	1,263	111.0	72	124.2	1,003	88.9	2,338	100.5
農薬肥料	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	421	130.7	159	100.8	-	-	580	124.6
合計	21,715	99.3	2,850	105.2	8,574	134.9	33,139	107.1

<事業の経過>

(4)会議等の開催

① 電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)

2024 年 4 月 25 日(木)～26 日(金)

・運営委員会委員交代の件

② 第1回理事会

2024 年 5 月 22 日(水) 10 時 25 分～11 時 5 分

全農薬ビル9F 会議室

・2023 年度事業報告及び収支決算承認の件

・第 35 回通常総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、等の承認の件

・役員任期満了に伴う理事・監事候補推薦の件

・その他 1) 委員会等の委員交代の件

・会長、専務理事の職務執行状況報告

③ 第 35 回通常総会

2024 年 6 月 18 日(火) 10 時 30 分～11 時 8 分

エッサム神田ホール2 号館 601 会議室(千代田区内神田)

102 名出席(本人出席 18 名、委任状による出席 59 名、議決権行使書 25 名)

- ・2023年度事業報告及び収支決算承認の件

- ・2024 年度事業計画及び収支予算の報告

④ 電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)

2024 年 12 月 9 日(月)～10 日(火)

- ・運営委員会委員、環境安全対策委員会委員及び同農耕地専門部会メンバー交代の件

⑤ 電磁的記録(メール)による理事会承認(みなし決議)

2025 年 1 月 29 日(水)～2 月 10 日(月)

- ・運営委員会委員交代の件

⑥ 第 2 回理事会

エッサム神田ホール 1 号館 9 階 902 会議室(千代田区神田鍛冶町)

2025 年 3 月 19 日(火) 10 時 30 分～11 時 30 分

- ・2024年度事業及び収支決算(案)報告の件

- ・2025年度事業及び収支予算承認の件

- ・2025年度借入金の借入最高限度額承認の件

- ・2025年度役員報酬の上限承認の件

- ・会長、専務理事の職務執行状況報告

⑦ 監査

2024 年 4 月 19 日(金)に当協会事務所にて 2023 年度事業報告、収支決算等に関し
監事 2 名による監査が実施され、適正との「監査報告書」を受領。

⑧ 委員会、専門部会、等

- ・運営委員会(前年 4 回)

第 1 回:2024 年 5 月 9 日 全農薬ビル 9F 会議室

2024 年度運営委員長の互選、塩島委員長を選任、

第 1 回理事会付議案(2023 年度事業報告案及び収支決算案の承認、第 35 回
通常総会の日時および場所並びに議事に付すべき事項、等)の承認

第 2 回:8 月 21 日 全農薬ビル 9F 会議室

2024 年度第 1 四半期の活動状況の報告、

農薬の再評価制度対応(防護装備の使用ガイダンスについて)、農薬製品ラベル
の樹木類/樹木等の使い分け徹底、「家庭園芸用農薬の広告宣伝に関するガイド
ライン」の改定、農薬製品ラベルの樹木類/樹木等の使い分け徹底、及び設立 30
周年記念行事(記念誌以外)の内容、等の協議

第 3 回:12 月 18 日 全農薬ビル 9F 会議室

2024 年度第 3 四半期の活動状況及び年間見込みの報告、

公益法人認定法改正(2025 年 4 月 1 日施行)に伴う対応、設立 30 周年記念
事業の計画、事務局の PC 更新、及び事務局のメンバー変更、等の件

第 4 回:2025 年 3 月 5 日 エッサム神田ホール 1 号館 801 会議室

2024 年度年間見込みの報告、農薬使用に関する Q&A の検討、

第 2 回理事会付議事項(2024 年度事業報告及び収支決算(見込)、2025 年
度事業計画・収支予算、30 周年記念式典の計画、等)の承認

・技術研修委員会(2024 年 7 月 5 日)

2024 年度の資格認定研修会の開催時期、カリキュラム、講師、試験問題を承認。また、資格更新研修の実施方法とテーマ、スキルアップ勉強会の日程と内容を承認。

・環境安全対策委員会(2024 年 7 月 10 日, 2025 年 3 月 25 日)

委員長を選任。2024年度委員会活動計画の承認。各専門部会の報告、課題の整理。

農薬の適正使用に関する Q&A の選抜を含め、各専門部会の 2024 年度実績のとりまとめと 2025 年度の活動計画を承認。

・環境安全対策委員会 ゴルフ場専門部会(2024 年 6 月 3 日, 9 月 25 日, 2025 年 1 月 9 日)

部会長を選任。2024 年度活動計画を策定。ゴルフ場排水指針値超過事例(水産指針)を確認し情報共有、超過農薬の対策状況を確認して環境省に報告した(1/20)。再発防止策として、全国のゴルフ場 2,058 ヲ所向けに環境水系の汚染防止の啓発チラシを作成・配布した。

芝用農薬の RAC コード表 3 種を改訂し、上記啓発チラシとともに DM を発送した。

農薬の適正使用に関する Q&A を当専門部会として取りまとめた(3/25 メール)。

・環境安全対策委員会 家庭園芸剤専門部会(2024 年 5 月 22 日, 2025 年 3 月 17 日)

部会長を選任。2024 年度活動計画を策定。クロップライフジャパン安全対策委員会が一般家庭から出る廃棄農薬及び空容器の処分に関して環境省の廃棄物部局と協議する場にオブザーバー参加(9/20)。

(公社)家庭園芸普及協会との連携による啓発活動として、一般家庭向け残農薬や空容器の処理のチラシを作成し、同協会に提供し DM 発信頂いた(11,143 部)。

家庭園芸用農薬容器表示要領の原稿を対象農薬の再評価完了有無別に 2 種類とりまとめた。会員に提供する PDF 版を準備中。あわせて、家庭園芸用農薬の広告宣伝ガイドラインの改定案をとりまとめた。

農薬の適正使用に関する Q&A につき、当専門部会として取りまとめた。

・環境安全対策委員会 農耕地専門部会(2024 年 6 月 1 日, 2025 年 3 月 24 日)

部会長を選任。

農薬の適正使用に関する Q&A につき、当専門部会として取りまとめた。

・「緑の安全管理士」認定審査会(2024 年 12 月 4 日, 2025 年 3 月 7 日)

当会主催の認定研修会修了試験合格者及び(一社)日本植物防疫協会主催の植物防疫研修会修了者のうち認定を希望する方々から管理士を認定した。

・緑の安全管理士会役員会(2024 年 6 月 21 日, 2025 年 2 月 20 日)

緑の安全管理士の活動強化、ロゴマーク、支部運営状況や課題等の協議。更新研修の動画のテーマ、並びにスキルアップ勉強会の開催場所と講演テーマの検討

(5) その他

・会員通信の発行

会員通信を 3 回(4/17、7/16、12/23) 発行し、News メール等で発信した。

・会員への規制当局等からの情報周知

農林水産省等からの周知情報を含め、News メールを 27 件配信した(前年度 28 件)。

・2023年度事業報告及び収支決算を内閣府への報告した(2024/6/21)。

・2024 年度事業計画及び収支予算を内閣府への報告した(2025/3/21)。

・事務局の移転登記

2024 年 4 月1日付で法務局へ変更登記済み。諸変更届出完了。

・会員の入会及び退会の状況について

<会員の異動>

	正会員	賛助会員	計
2023年度末(2024.3.31)	137	2	139
入 会	0	0	0
退 会	1	1	2
2024年度末(2025.3.31)	136	1	137

退会(届出日) 2025.2.28

(退会日) 2025.3.31 付 内藤環境管理(株) 業態変更のため

(届出日) 2025.3.31

(退会日) 2025.2.28 付 (株)岡本清右衛門商店 廃業したため

<(公社)緑の安全推進協会役員>

2025 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所属会社・団体
会 長	根 岸 寛 光	(公社)緑の安全推進協会
副 会 長	小 林 由 幸	(株)ロイヤルグリーンメンテナンス 代表取締役社長
//	小 澤 敏	クロップライフジャパン会長 (三井化学クロップ&ライフソリューション(株) 特別顧問)
専務理事	白 岩 豊	(公社)緑の安全推進協会
理 事	秋 森 吉 樹	全国農業協同組合連合会 耕種資材部次長
//	足 立 純 一	シンジェンタジャパン(株)執行役員プロフェッショナルソリューション事業本部長
//	井ノ下 順二郎	日本農薬(株) 上席執行役員 国内営業本部長
//	梅 田 公 利	住友化学園芸(株) 代表取締役社長
//	大 森 茂	全国農薬協同組合 前理事長(山陽薬品(株) 取締役相談役)
//	河 西 康 弘	住友化学(株) サステナブルソリューション部 総括
//	篠 原 卓 朗	(株)理研グリーン 代表取締役社長
//	永 井 統 尋	(株)ニチノー緑化 代表取締役社長
監 事	鈴 木 望 文	小西安農業資材(株) 常務取締役営業本部長
//	松 浦 克 浩	クロップライフジャパン 専務理事